

2011年8月1日

大学では前期の授業がほぼ終了し、レポートや試験をとおして、受講生の学習成果を担当者として見つめるときになりました。今回もすてきなレポートがたくさん提出されました。

下記の「声」は、授業「教育原論」の会ったKさん(大学1年生)が6月の半ばに私に発信してくれたものです。Kさんも、レポートの課題に真摯に向き合い、「教育とは何か」を描きながら、自分のこれからを見つめていた学生でした。

山口 正

< 大学1年生 KさんのVoice >

私は、大学受験で半失敗した人間です
でもいま

この夢を実現させるために、自分磨きを大学4年間でしていきます

今日は授業後、声を掛けて下さり、ありがとうございました。
先生に、褒めていただき、心がすーっと軽くなりました。

私は、大学受験で半失敗した人間です。

第一志望は、中等 学科でした。

中学1年の冬頃から高校・そして現在と、ずっと中学校の 教員になるのが
将来の夢です。

私は、愛知教育大学附属中学校(以下附中)で3年間過ごしました。

教員になりたい!と思ったのも、附中で素晴らしい先生方に巡り合ったからです。

高校は、 高校に通っていました。

推薦で附属高校 愛教大のルールに乗るのではなく、もっと視野を広げてから愛
教大に入学したいと思ったからです。

3年後、愛教大に入学できる保証はなくても、この道を私は選びました。

私は、中等 科に落ちました。それどころか、初等 科にも落ちました。

科でも中等 科の免許は取れるということで、今、大学生活を送っています。
ですから今でも、 科に引け目みたいなものがあります。

私は 科に落ちたんだ、教員になれるのかな・・・と。弱気でした。

でも、先生に今日、教員になると良い、というようなことを言っていただき、『
科でも、科でも関係ない。自分は自分の教師像を創り上げるんだ!!!』と、
自分自身を励ますことができました。

私は、中学校の の教員になりたいです。
そして、教員になってからの目標・夢もあります。

この夢を実現させるために、自分磨きを大学4年間でしていきます。

教育とは何か？

中学の頃から、いろいろ考えてきました。

自分が教員ならどのような授業をするか、どのようなことをしたいか、などなど。
自分なりの考えを持っています。

時には、中学や高校の先生に教育に関する意見を求め聞いたりしています。

でも、本を読むことがめっぼう少ないので、本からの情報は全然持っていません。
本を読めば、もっと多くの人意見を学ぶことができます。

教育原論の課題レポートを通して、知識や考え方を広げられたらな...と考えてい
ます。

長々書いてしまいましたが、教育は、“教えるだけでなく、育てていくこと
”ということを忘れず、様々な角度から考えていきたいです。

今日は、とっても心に響く一言をありがとうございました。

そして、どうぞこれからも宜しくお願いします。